

目次

- ◆ 吉良氏と世田谷城・・・・・・・・・・1～2
- ◆ 世田谷の道を訪ねる―烏山川緑道―・・・3
- ◆ 第5回子ども読書活動推進フォーラム
『子どもたちと楽しむ昔ばなし』・・・4
- ◆ 子育て支援出産・育児コーナー新設・・・5
- ◆ 新着図書案内・・・・・・・・・・・・・6
- ◆ 障害者サービス 新着デジ―図書・・・7

ざ・ちゅうおう ぶねす

第70号 2011年 3月号

発行：世田谷区立中央図書館
 世田谷区弦巻3-16-8
 TEL 3429-1811
 FAX 3429-7436

図書館ホームページ（パソコン） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp>
 （携帯） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>



世田谷城址公園

特集1

吉良氏と世田谷城

特集2

世田谷の道を訪ねる
 ―烏山川緑道―

⇒ 詳細は次頁へ

中央図書館カレンダー

3月							4月							5月							6月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4						1	2	1	2	3	4	5	6	7					1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				26	27	28	29	30				

中央図書館 開館時間

火～日 10:00～19:00
 月・休日 10:00～17:00

■ は、世田谷区立中央図書館休館日です。

□ は、17時に閉館です。

5/9(月)は、臨時休館です。
 (建物法定電気設備点検のため)
 5/26(木)～6/1(水)は
 特別整理のため休館です。

★毎月最終木曜日は、館内整理日のため休館です。

中世の時代に、世田谷を治めていた吉良氏と居城であった世田谷城を特集します。

吉良氏とは

室町二代将軍足利義詮のころから後北条氏没落までのおよそ二百年間八代にわたって、ここ世田谷の地の領治者でした。

吉良氏は足利氏の支族で、足利義氏の子、長氏が三河国幡豆郡吉良庄（愛知県西尾市・吉良町）を継承し、吉良という苗字を使うようになりました。

吉良氏は、西条吉良と東条吉良の二つの家に別れ、西条吉良は、あの忠臣蔵で有名な吉良上野介義央の系統です。世田谷の吉良は、東条吉良の流れをくんでいます。

吉良氏と世田谷

東条吉良の貞家は、南北朝時代、奥州探題となって今の東北地方を治めていました。その子、治家は戦いの手柄により初代鎌倉公方足利基氏から世田谷郷を拝領しました。その後、奥州探題が廃止になると、治家は上野国飽間郷（群馬県安中市）に移住します。当時、吉良氏は世田谷と蒔田（横浜市）を領有し世田谷殿又は蒔田殿とも呼ばれ将軍家の御一家として特別な格式を誇っていました。

その頃に世田谷城が築城されたといわれますが、その正確な時期や規模はあきらかではないようです。

世田谷城

世田谷城は世田谷御所とも呼ばれ、初代治家より八代氏朝に至る二百数十年間吉良氏の居城として栄えました。この城を中心に宿駅の新設や世田谷郷の産業開発が行われました。世田谷ポロ市もその名残です。

世田谷城はこの地域でも高い台地の上に築城され、烏山用水と北沢用水に囲まれた広い城郭で、周囲に寺社や有力な家臣を配置して非常時に備えました。

一名残常盤記一

「さぎ草物語」の名で親しまれているこの物語は、七代頼康の側室「常盤」を主人公とした説話文学です。



—世田谷城址公園—

その後の吉良氏と世田谷城

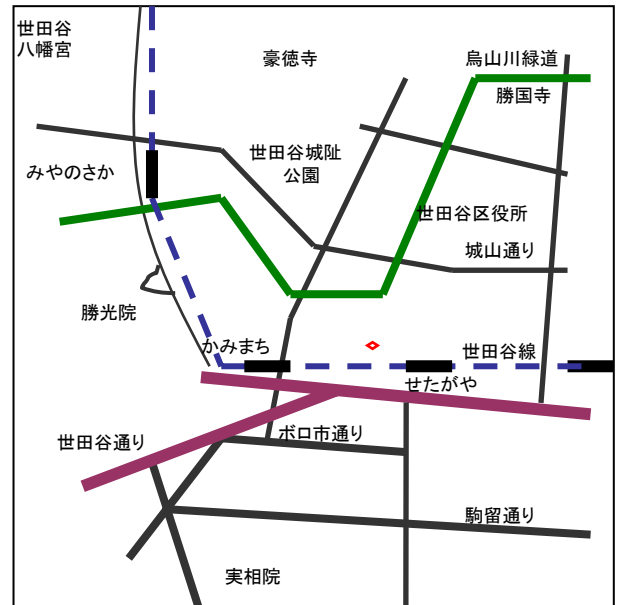
天正18年（1590年）豊臣秀吉が小田原城の北条氏を攻めると世田谷城は抵抗もなく秀吉軍に占領されました。北条氏と親戚関係にあった吉良氏は、北条氏が滅亡すると、下総（今の千葉県）へ逃れ、世田谷城は廃城となりました。以後、勝光院の寺領に編入、江戸時代には松林におおわれ、古城山と呼ばれていたとのことです。

吉良氏ゆかりの旧跡と寺社

区内には、吉良氏の居館（城）跡である世田谷城跡や吉良氏創建とされる寺社などの史跡が点々とあります。その興亡をしのびながら、ぶらりと歩いてみましょう。

世田谷城跡公園

世田谷城は、小台地の先端に築られました。北側の谷戸を望む場所に井伊直弼の菩提寺である豪徳寺があります。当時は、豪徳寺、世田谷八幡宮も敷地の一部を形成していたようです。現在の世田谷城跡は、区民に親しまれる公園として整備されており、昔のおもかげを残す土塁や空堀が残っています。



勝光院

竹林の美しい吉良家の菩提寺です。三代目頼氏により開かれ、龍鳳寺と名付けられたといわれています。その後、七代目頼康が中興し、没後その法名から勝光院と改められました。吉良氏代々の墓や世田谷城内にあったといわれる千手観音があります。

勝国寺

世田谷城の北東の鬼門よけの寺として五代目政忠により建立されました。薬師如来が納められ、吉良氏代々の祈願所となり、その後江戸時代には御朱印寺として幕府の保護を受ける格式の高い寺となりました。今でも赤い門が迎えてくれます。

世田谷八幡宮

七代目頼康は、鎌倉の鶴岡八幡宮造営にあたり多くの寄進を行いました。その完成祝いの相撲大会で家臣の仁左衛門が優勝し褒美として分かち与えられたご神体をお祀りしました。毎年9月には、区内にある大学の相撲部の人たちによる奉納相撲が行われています。



—実相院—

実相院

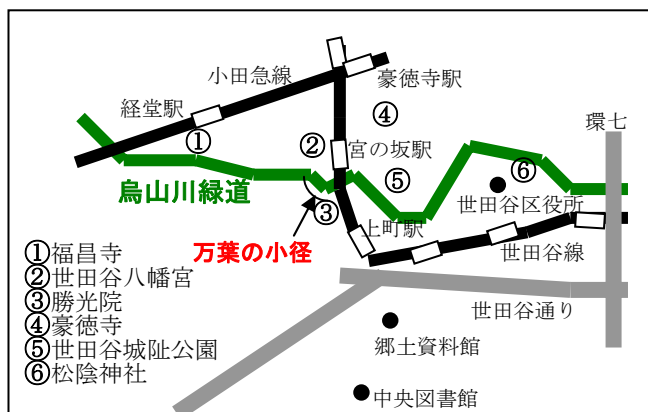
吉良氏最後の八代目氏朝は、豊臣勢が攻めてきた時に下総の国に逃れて世田谷城を明け渡しましたが、晩年世田谷に戻り実相院の地で隠遁生活を送りました。緑深い静寂さに当時が偲ばれます。

参考資料（地域資料コーナーにあります）

- 『世田谷城下史話』（世田谷区） GA2100
- 『せたがやの歴史』（世田谷区） GA2100
- 『世田谷区の歴史』（世田谷区） GA2100
- 『せたがやの散歩道』（世田谷区） GA2100
- 『世田谷歴史・文化ウォッチング—史跡マップ』（世田谷区） GA2100
- 『関東武士研究叢書第4巻・吉良氏の研究』（名著出版） GB2100
- 『世田谷の中世城塞』（世田谷区） GA2104

— 烏山川緑道 —

緑道は私たちの生活を豊かなものにしてくれるものの一つです。区内の緑道のうち烏山川緑道を集めます。今回は、環七若林付近から小田急線経堂駅付近にかけて訪ねました。周辺には、名所・旧跡や古くからの由緒ある寺社が多く点在しています。緑道は豊かな緑を保存しつつきれいに整備されていて、快適な散歩道となっています。



こみち 万葉の小径

宮坂一丁目の谷中橋から葦橋にかけての区間は、万葉の時代に思いを馳せながら散策を楽しむことができます。沿道にある樹木にはその樹木にちなんだ万葉歌人の歌や説明の札がつけられています。わずか150mほどの区間ですが味わいのある空間です。



— 万葉の小径 —

散歩道としての緑道

その昔、川や用水だったところに特有の特色を随所に見ることができます。住宅の間を縫うようにして曲がりくねった道から人々の生活を身近に感じたり、工事現場や大型小売店の搬入口のすぐそばをとる道からは、人々の活動を身近に感じたりすることのできる空間といえます。また、ところどころに小さな公園や児童遊園があるなど休憩できるスペースが多数用意されています。



— 季節の樹木 —

烏山川緑道

烏山川の水源地は烏山の高原院の池で、三宿で北沢川と合流し目黒川になり、東京湾に流れ込む自然発生の川だったようです。江戸時代には農業用水として活用され、昭和48年には下水道幹線として蓋がかけられて緑道として整備されました。

参考資料

- 『歴史と四季を歩く若林・世田谷・宮坂一健康マップ』（世田谷区）GA2100
- 『地域と歴史を歩く経堂・桜丘・烏山川緑道一健康マップー4』（世田谷区）GA2100
- 『東京の川めぐりー東京の川・全34コースー』（山海堂）GB2100

第5回世田谷区子ども読書活動推進フォーラム

「子どもたちと楽しむ昔ばなし」～みんなで語ろう昔ばなし～

去る2月6日（日）教育センター「ぎんが」で、子ども読書活動推進フォーラム（世田谷文学館との共催）を開催しました。子どもの読書活動に関わる団体等が集まり、日ごろの活動報告や交流を行いました。

第1部は、藤井いづみ先生の昔ばなしの解説と語りです。「昔ばなしは、世界各国にあります。国は違っても共通する特徴があります。昔あるところで、とはじまる場所を特定しないこと、場面が3回繰り返される、主要登場人物が3人や3匹という3という数字がかかっている話が多いこと」など昔ばなしの構造について興味深い解説がありました。『うりひめ』『かちかち山』などを語っていただきました。

「昔ばなしは、語り手と聞き手が一緒に旅する楽しみがあります。子どもたちといっしょに楽しい時を過ごしてください。」と締めくくられました。



藤井いづみ先生「まめの木文庫」を主宰
昔ばなし大学語り講師
白百合女子大学非常勤講師



世田谷文学館の生田学芸部長

第2部では、世田谷文学館の生田美秋学芸部長が「ふるさとを知ると愛着がわくので、ぜひ子どもたちへ伝えて下さい。」と世田谷の昔ばなしを紹介しました。

また、区内で子どもたちへのおはなし会活動をされている各グループ「わらべうたの会トトケッコー」「おはなし泉」「すばなしの会」「おはなし広場」から活動報告がありました。中学生への読み聞かせを行っているグループに、参加者から「どんな絵本を読んでいるのですか？自分たちの活動に活かしていきたい。」と質問がありました。

最後に、わらべうた『梅のうた』、昔ばなし『若がえりの水』『尻尾の釣』『犬とねことうろこ玉』を披露されました。それぞれ引き込まれる楽しいうたと語りでした。

「藤井先生のやさしい語りに感動した。」「各グループの昔ばなしが大変参考になった。」などの感想がありました。昔ばなしは魅力的です。子どもも大人も引き付けます。おはなし会などを通して子どもたちへ届けたいと思いました。



みなさんとわらべうた『梅のうた』を輪唱しました。♪

“うめにうぐいす ほ～ほけきよ～”

子育て支援 出産・育児コーナーを新設しました！

～妊娠・出産・育児の本がひとつのコーナーに～

—小児医学の本も並びます—

妊娠・出産・育児に関する本や赤ちゃんの名づけ事典などは、いままで各分類ごとにそれぞれのフロアの本棚に並んでいました。この3月より、1階ポピュラーフロアの情報コーナーの近くに1カ所にまとめて、コーナーを新設しました。赤ちゃん向けの絵本も並びます。

特に育児関係や乳幼児の病気などに関する本は、新たに購入した本とともにコーナーにまとめて、探しやすいご利用しやすくなりました。

一部紹介します。



『愛情たっぷり「育脳」子育て』大井静雄著（中央法規出版）5983 お
『赤ちゃんの病気全百科』加部一彦監修（学研パブリッシング）5983 あ
『子どもに薬を飲ませる前に読む本』山田真著（講談社）5983 や
『最新赤ちゃん・子どものアトピー&アレルギー大百科』末廣豊〔ほか〕監修
（ベネッセコーポレーション）5983 さ
『赤ちゃん学力カフェ1～3』日本赤ちゃん学会編（ひとなる書房）5990あ
『ベビーとの暮らしを楽しむ100のコツ』（柘出版社）5990へ
『うちのおすすめ！離乳食レシピ100』岡本正子監修（PHP）5993う
『0歳～1歳児の脳を育てる赤ちゃん体操』池田由紀江監修（講談社）
5995せ

なお、やや専門的な小児医学の図書などはこれまでどおり地下1階の医学のコーナーにあります。

（医学関係の本に記載されている治療法等は、図書館が推奨するというものではありません。複数の本をご覧いただき、専門的な判断が必要な際は、医師にご相談いただきながらご利用ください。）





新着図書案内



『生命(いのち)ー人体リサイクル時代を迎えて』

山口研一著(緑風出版)4901い

「神の領域にまで踏み込みつつある」とまで言われている現代医療。5人の専門家が、それぞれの立場から医療のあり方、医療を取り巻く国や企業の動きを、それぞれの生命観、宗教観などから「人体リサイクル時代」として論じています。

マスコミ報道は、移植の進まない障壁として、旧態依然の学者の存在を指摘しがちです。しかし、この本は保守的な立場からの反対ではなく、現在の医療のありかた自体に問題があるという視点から論述しています。

移植、再生医療など最先端の現代医療の問題点を再考し、マスコミ報道とは違う視点も見出せる本です。

『統計データはおもしろい!』

本川裕著(技術評論社)3504ほ

縦軸と横軸に異なる指標を設け、そこに現れる規則的な関係性を表したグラフが相関図です。「太りすぎと寿命」や、「ソースと醤油の消費量」などユニークなテーマが数多く取り上げられています。相関図を眺めるだけでも十分楽しめますが、ところどころに書かれているコラムを読めば、なぜ何も関係ないように見える二つの指標には関係性があるのかがより詳しくわかります。

もっと読んでみたいと思った方は、ぜひ著者が運営しているHP「社会実情データ図録」もご覧になってみてください。本には収まりきらなかった面白いデータがまだまだたくさん載っていますよ。

『作家の家』

コロナ・ブックス編集部(平凡社)

9102.6さ

小説家や写真家、建築家、画家など15名の作家が暮らした家を集めた一冊です。

生前のままの書斎、仕事場、応接間、庭や愛用の品など、木のぬくもりと緑の香りが伝わってくるような写真を家族や身近な人によるエピソードと一緒に紹介しています。

多くは写真で楽しむことしかできませんが、没後65年に実現した立原道造の「ヒアシンズハウス」は実物を見学できるそうです。

コロナ・ブックスの作家シリーズには、ほかにも「犬」「猫」「食卓」「おやつ」「酒」が出版されています。

『ぼくの図書館カード』

文=ウィリアム・ミラー 絵=グレゴリー・クリスティ 訳=斉藤規

(新日本出版社)E赤く

現在の日本では、誰でも図書館を利用することができますが、1920年代のアメリカでは、図書館を利用できるのは白人だけで、黒人には認められていませんでした。貧しい黒人少年の主人公は、無性に本を読みたくても、買うことも図書館で借りることもできません。しかしある日、1人の優しい白人の助けによって初めて本を読み、読書に夢中になっていきます。そして、白人の中にも自分と同じように自由を求めている人がいるということを知ります。

読書により「自由への切符」を手に入れ人生を切り開いた、黒人作家リチャード・ライトの自伝『ブラック・ボーイ』を基に描かれた絵本です。

障害者サービス

新着デイジー図書のご案内



☆ デイジー図書とは・・・

視覚障害者用に作成された録音図書の一つに、デイジー図書があります。デイジー図書は、1枚のCDに本の朗読が吹き込まれており、専用の再生機を使います。しおり機能など便利な機能があります。カセットテープに比べて容量が大きいので、ほとんどの本は1枚におさまります。

世田谷区立図書館でもデイジー図書の利用が増えてきました。
※視覚障害等をお持ちの世田谷区民の方で、デイジー図書の利用をご希望される方は、図書館の**障害者サービスへの登録が必要**です。詳しくは、お近くの世田谷区立図書館にお問い合わせください。

平成22年度 新規受入デイジー図書 ※HSDは請求記号

- 『シエナー夢見るゴシック都市ー』池上俊一著（中央公論新社）**HSD120**
『親和力』ゲーテ著 柴田翔訳（講談社）**HSD121**
『イタリアー美術・人・風土ー』三輪福松著（朝日新聞社）**HSD122**
『死ねばいいのに』京極夏彦著（講談社）**HSD124**
『真昼なのに昏い部屋』江國香織著（講談社）**HSD125**
『魔物 御隠居忍法』高橋義夫著（中央公論新社）**HSD126**
『世田谷区立図書館録音図書所蔵目録ーDAISYー 2010年3月』（世田谷区立中央図書館）**HSD123**

編集後記

世田谷区名誉区民でもある作家井上靖氏が亡くなってから今年で20年です。現在でも多くの方々に井上靖氏の作品は読み継がれていますので、もう20年・・・と驚かれる方も多いと思います。

当館ではご家族からご寄贈いただいた、生前井上靖氏が所蔵されていた貴重な本を地下1階フロアのケースに展示しています。来館された際にはぜひご覧ください。（K）